

【刊夕】日六廿月三



價一錢部金一錢 五錢郵 五錢行 一錢字 三錢告 五錢料 廣行發 入刷印人輯編筆行發 治文崎川入刷印人輯編筆行發 五三町橋長町平郡城石縣鳥編 審〇三六話電 社開新日每警常 所行發 社會式株刷印日每警常 所刷印

軍神廣瀨中佐

海軍中將子爵 小笠原長生

とろく筒音 飛び來る 弾丸 荒浪洗ふデツキの上に
といふお馴染の唱歌で、少年諸君は定めし御承知になつてゐらつしやるでせう軍神廣瀨中佐が日露戦役中旅順口の港口で戦死したのは、今より二十七年即ち明治三十七年の三月二十七日でありました。それで私

は今日同中佐のことについてお話しをしようと思ふのであります。日露戦役で戦死した將校や兵士の数は夥しいもので、旅順方面だけでも、陸海兩軍を合しますと、二萬二千七百十九名の多數に上つてをります。併し其の中で軍神と云はれた者は三三人に過ぎません。さうして廣瀨中佐は第一番に軍神と謳はれた程偉い人なのであります。

私は海軍兵學校時代、廣瀨さんとは同じ分隊で同じ室に居りました。加之寢床が隣合つて居たのでよく議論をしたり、喧嘩をしたり又時にはどら聲を張上げて軍歌の唄ひくらをやり、巡

隊司令官東郷大將は、こちらから闇夜に船をもつていつて、敵が港から出られないやうに港口に沈めた。それが前後三度行はれた閉塞といふのであります。さうして廣瀨中佐は第一回、第二回と、二度までへいさ隊の一船に乗つてへいさをやり、その二回目の時に彼の有名な杉野兵曹探しとなり、續いて敵の弾丸にあつて戦死されたのであります。

廣瀨さんの最期がいかにも立派で、それがため世人が軍神と譽稱へたのも、實は此の俠氣の見事な顯れからであつたらうと思はれます。一體戦争といふものは申すまでもなく命がけの仕事でありまして、其の中にも旅順港口の閉塞と云ふのは難しい事の中の難しい事であつたのであります。其の當時旅順の港の中には、力強い露國の艦隊がゐて、我が陸軍が敵地に上陸しようとするのを、障げやうとしてゐた。それであるから艦

杉野！杉野！杉野！自分から乗船を爆破して船はづらん！沈んで行く、諸方から打出す敵の弾丸は雨霰といふやうなあり來りの形容で言ひつくせる如き生優しいものではなかつた。其の中で一度ならず三度までも行方不明の杉野兵曹を探したのは何といふ俠氣でありませう。自分の身を考たり私心のあるものゝとでも能る業ではありませぬ。今の世は兎角自分さへ好ければ他人はどうなつても構はないと云ふ者が多いのであります。本當の偉い人になるのは君國のため他人のためと云ふことを先にするやうでなくてはなりません。

鳥料理

割 煮

末廣

番一二四電

磐城土産 鰹節と 鹽から 配達敏速

魚問屋

最優最 平賀志 大平目 日理盛 本店一三 命榮番

耳鼻咽喉科専門

合津醫院

平町仲田 電話五五九

藤沼醫院

平町紺屋町 電話五〇七番

貸切は●●●

セダン揃ひで！
貸切専門の！

昭和タクシー

電話三四三

外科専門

木村外科醫院

花柳病 入院自炊の便あり
平町五丁目橋際 電話三〇九番

安全剃刀

モーニング

日本人のおひげそりに一番適した
モーニング替刃

おひげそりの快味

安全剃刀機械 一枚刃付四十五錢

五錢一枚 十錢一枚 二十錢各料 包一送

發賣目 平町五丁

釜屋商店

地方雜貨金物店でも 販賣して居ります

つつがなく使命を果して

川崎社長愈々歸郷

來る二十八日に平着

出發してから三十六日で 久方振りに懐かし故郷へ

先月下旬南滿州鐵道株式會社の招聘に接し同地沿線の各小學校にお伽のおぢさんとして巡回講演をなすためパンザイの歡聲に送られて渡滿した川崎本社長は去る十九日の安東を最後として滿州の地にさらばを告げ朝鮮經由二十三日夜釜山を解纜して翌日下關へ上陸一ヶ月余にして内地の土を踏み目下滯京中であるが愈々來る二十八日上野驛を發して同日午後一時五十一分平驛着列車にて歸郷することになった

旅装のまま、で

直ちに御挨拶を

マルトモ階上にて

滿鮮視察のお土産話

來る二十八日午後一時五十一分平驛着列車にて三十六日振りに故郷へ歸る川崎本社長は同驛着と同時に直ちに平町四丁目マルトモホールに於いて一場の御挨拶をなして次いで本社主催、平教育會後援にかゝる滿鮮視察旅行の土産話をなすことになつてゐるが當日は晴雨に拘はらず開催し一般の來聽を歓迎すると

周旋屋悪事

十圓を着服

石城郡好間村南町田無職太田源吉(三)はその筋の許可

女物を窃取

エロ犯人捕る

二十五日午後九時頃石城郡小名濱町地内を徘徊中の舉動不審の男あるのを平署員が発見格闘の末逮捕し本署

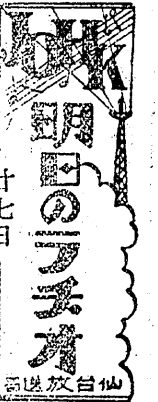
悪代書上遠野

四千五百圓横領

酌婦に現を抜かして 遂に裁きの庭へ立つ

昨日第一回公判

石城郡上遠野村三〇司法代書人上遠野喜一郎(五)に於ける四千五百圓の詐欺横領事件公判は二十五日午後一時より平支部に於て中島裁判長係り三笠検事立會大嶺辯護士出廷のもとに開廷されたが被告は昨年三月平町所用の爲め來た際南



明日のラマオ

今晩は南東の風 小雨模様明日は 北西の風天気良 見え込み

- 前七、〇〇 ラデオ体操
- 前九、〇〇 氣象通報
- 前九、〇五 經濟市況
- 前九、一〇 料理献立「小兒及病人用献立」第三菊地貞子發表 日用品値段
- 前九、三〇 經濟市況
- 前一〇、三〇 家庭講座
- 「飲食物の衛生」伊藤幹愛
- 前一一、四〇 經濟市況
- 正午 時報
- 後〇、〇五 少年民謡

- 「さんざしぐれ」唄 今野林之助其他 尺八伴奏尾形旭水
- 後〇、四〇 全國ニュース
- 氣象通報 告知事項
- 後一、〇〇 經濟市況
- 後二、〇〇 家庭大學講座
- 「獨逸文學」第十講 山岸光宣
- 後二、三〇 經濟市況
- 後三、四〇 氣象通報
- 後三、五〇 經濟市況

青年會館建設

工費八百圓

四倉町字元町青年會館では同町妙見寺境内に青年會館の建築を決定した工費八百餘圓で二十八日から着工の筈

實印を預けた處之を

奇貨とした被告は自己宛の委任状を偽造し五百五十圓を詐取したのみならず同年九月同様手段で同村渡邊達雄より三千五百圓を横領しウメヨを落籍して逃走行衛を暗ましたが途中良心の苛責にたえかね渡邊に

滿鮮視察 講演會

講師本社長 川崎文治氏

期日……來二十八日

午後二時から

會場……平町四丁目

マルトモホール

一般來聽歡迎

主催 常磐毎日新聞社

後援 平教育會

水が浅くて 助けてくれ

自殺女悲鳴

石城郡山田村大字下山田字橋本一〇源太郎弟佐川末次郎内妻杉倉トヨ(三)は夫と

- 後四、〇〇 全國ニュース
- 後五、〇〇 (子供の時間)「働く人々の話」第四講 働く事の幸福 青木フヂヨ
- 後五、三〇 經濟市況
- 後五、四五 今晚の番組豫告
- 後六、〇〇 (子供の時間) お話「軍神廣瀬中佐」小笠原長生
- 後六、三〇 最新自然科学講座「自然界に於ける生物の地位と特性」第一講 篠原雄
- 後七、〇〇 全國ニュース
- 氣象通報 告知事項 番組豫告

- 後七、二五 講演「學校兒童就職問題に就いて」松島周藏
- 後八、〇〇 獨唱と二重唱 第一部「ソプラノ」獨唱 セレナーデ外二曲 ソプラノ清水金太郎 ソプラノ同静子 第二部「バリ」の開幕の唄外二曲
- 後八、三〇 放送舞臺劇「大酒強者」阪東壽三郎一座
- 後九、三〇 ニュース 日本棋院春秋東西大手合戦 續八
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項

